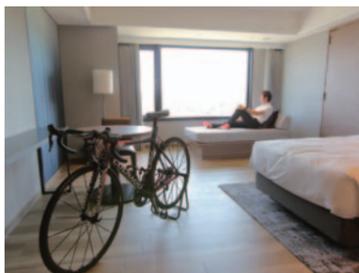




安全安心なサイクリング環境の整備

サイクリストに優しい宿の拡大

大切な自転車を部屋まで持ち込み、空気入れや修理道具の貸し出しなど、サイクリストが安心して過ごすことができる宿泊施設の拡大を推し進めます。



サイクルステーションの設置

県内では、サイクリストが休憩や自転車のメンテナンスを行うことのできる施設「サイクルステーション」の設置が進んでいます(平成29年3月末 県内68カ所)。

きいちゃんのデザインが入った看板やのぼりなどが目印で、サイクリストが安心して走行できるように空気入れ、修理工具、バイクラック等を配置し、ベンチやトイレも利用できます。

今後民間施設などの協力により、設置数を増やしていきます。



※サイクルステーションの設置に関しては県庁地域政策課まで ☎073-441-2371

サイクリングロードの整備

県では、地域の魅力を楽しむための観光や健康づくりを促進するため、利便性や安全性を備えた総延長約800kmのサイクリングロードの整備を進めています。

川・山・海のルートを設定し、青色のライン(ブルーライン)を引くことで、自動車運転手にも注意を促しながら、地域に慣れないサイクリストでも、できるだけ車の通行が少ないルートに誘導し、より安全にサイクリングを楽しめるように取り組んでいます。

ブルーラインは、自転車歩行者専用道路では連続したラインを引き、自動車交通量が少ない一般道路では100mおきに長さ5mのラインを引いています。また、交差点内には進行方向を示す路面表示なども設置しています。



※サイクリングロードの整備に関しては県庁道路政策課まで ☎073-441-3116

地域の魅力を満喫できるサイクリングコース

心地良い風を感じながら海・山・川と変化に富む景色を自転車で走っていると、時折「褒美のような絶景や穴場スポットに出会えます。そんなサイクリングを楽しめる道が和歌山にはたくさんあります。

県では、初心者から上級者まで幅広いニーズに応じたコースを設定し、各種サイクリングマップなどで、おすすめのサイクリングコースを紹介しています。

今回は、水と親しむサイクリングコースのひとつを紹介します。

有田のシンボリックな景観をめざして!

有田川コース(全97km)



有田川に沿って山あいに行くコースでは、風に揺れる木々のざわめきや川から立ち上る涼風に包まれながらのサイクリングが心地良い。山道から見下ろす二川ダムや、そこに架かるスリリングな吊り橋の蔵王橋、そして河岸段丘地形を利用した幻想的な棚田、あrazigishimaは必見。



足もとからダム湖の水面がのぞける蔵王橋。歩くと揺れるためスリル満点。



サイクリングの魅力を伝える活動を行う「和歌山サイクルプロジェクト」の宮園真さんにお話を伺いました。



サイクリングの醍醐味は、四季折々の自然を感じることで、その上健康にもよいところ。ペダルをこぎ出せば、和歌山には海、山、川が目の前に現れることが最大の魅力です。自転車は、自分の止まりたいと思ったところで気軽に止まれ、自転車に乗っていただけたら行くことはなかったであろう街や景色を見せてくれます。そして、走った先で美味しいものを食べるのも楽しみのひとつです。体も心も満たされるサイクリングに出かけてみませんか。

わかやまサイクリングフェスタ

初めての規模サイクリングイベント「わかやまサイクリングフェスタ2017」を、3月26日に和歌山市民スポーツ広場をスタート・ゴール地点に開催しました。高野山を巡る上級者向けの160kmから、初心者向けの10kmまでの3コースに合わせて約600人が参加し、海や山、川の風景、地元グルメを楽しみながら駆け抜けました。

今年度も来年3月25日に開催を予定していますので、ぜひご参加ください。

問 県庁地域政策課 ☎073-441-2371



大門(高野町)